

## 日本ビジネス実務学会 第29回全国大会 ビジネス実務教育と初年次教育

第29回全国大会は、2010年5月29日（土）・30日（日）の2日間、自由が丘産能短期大学の会場で開催しました。全国から160名を超える参加者にお集まりいただき、研究や交流を深めることができました。学務や教育・研究でご多忙な中、お集まりいただいた方々に感謝いたします。

本大会の統一テーマは「ビジネス実務教育と初年次教育」です。入学者の多様化が進む中で、高等教育機関には質の保証が求められています。大学・短期大学が教育を工夫して、特色のある授業を実施しても、学生の学習態度が転換できず、しっかりした基礎教育を実施できなければ、教育成果をあげることが難しくなっています。そのため、初年次教育に注目が集まっています。昨年度、本学会で実施した初年次教育指導法セミナーも盛況でした。このテーマに対する学会員の関心が高いことが確認できました。ビジネス実務教育に関する研究の蓄積を活用して、初年次教育で成果をあげることがをめぐり、第29回全国大会のテーマを設定しました。

初年次教育の原点は、学生を能動的学習へと転換させることであると考え、アクティブラーニング研究所の羽根拓也先生に、基調講演「学生を惹きつける技術」をお願いしました。ワークショップ形式の羽根先生の講演は、参加者を惹きつけ、全員をアクティブラーニングの渦に巻き込んでしまうものでした。参加した学会員の方々から、おおいに参考になる講演だったと好評でした。

今回は、各ブロック研究会にお願いをして、初年次教育の事例を発表していただきました。学校の事情に合わせて苦勞をしながら取り組んでおられることがにじみ出た事例発表でした。全学で工夫をして取り組んでいる様子が鮮やかに報告されていて、聴講した方にはおおいに参考になったことでしょう。多様な事例報告は、本学会のビジネス実務教育の蓄積の有効性を再認識できるものでした。

来年、本学会は30周年の節目を迎えます。就業力支援、質の保証、初年次教育、実践的な教育指導法、体験学習の教育指導法など、時代は、本学のめざしてきた教育・研究と同じベクトルを向いてきています。これまでの蓄積を活かして、高等教育の質の向上に貢献していきたいと願っています。

第29回全国大会 実行委員長  
池内健治  
自由が丘産能短期大学